オプトアウト用資料（当院ホームページ掲載用）

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | IMP 脳血流 SPECT および MRI による MCI due to LBD と MCI due to AD の鑑別能に関する研究 |
| 当センターの研究責任者 | 高齢者脳機能治療室　仲田　崇 |
| 研究目的 | 認知症とは言えず、正常（生理的加齢）とも言えない認知症の前段階を軽度認知障害（エムシーアイ MCI：Mild Cognitive Impairment の頭文字）と言います。MCI には一般的に既存の抗認知症薬の適用はなく、現在開発中の新規薬が、より早い段階（早期）の認知症の患者さんへ国内でも使用可能となりましたら（早期治療）、MCI を含む早期認知症をより早い段階で正確に診断すること（早期診断）が必要となります。<br>早期診断、早期治療がともに可能となれば、認知症の発症予防や症状軽減により、患者さんとその家族の不安や介護負担を軽減する可能性があると考えています。MCI では、軽いもの忘れ以外に症状を認めないことも多く、MCI の原因となる脳内の変化（背景病理）はさまざま（多様）ですので、MCI の画像診断は非常に重要です。特にアルツハイマー型認知症（AD）とレビー小体病（LBD）を MCI のような早期の段階で区別し正確に診断すること（鑑別診断）は重要ですが、従来の画像解析法のみでは難しい場合があります。しかし、MCI を含む早期段階で AD と LBD を区別し正確に診断すること（鑑別診断）が可能になると、早期治療による予防や介護負担の軽減にもつながると期待しています。<br>そこで、2017 年 1 月～2021 年 12 月に当科を受診され、問診、心理検査と頭部画像検査を行い、軽度認知障害（MCI）と診断した患者さんに対して、脳血流 SPECT および MRI により MCI の段階で AD と LBD の区別（鑑別診断）ができるか否かを調べ、その重要な画像のポイントや問題点を抽出します。この研究は、MCI の病態解明や MCI を含む早期認知症段階の早期診断や早期治療介入などに役立てることを目指しています。 |
| 利用する情報 | ■対象<br>①2017 年 1 月～2021 年 12 月に当科を受診され、問診、診察、心理検査、頭部画像検査を受け、初回の診察で軽度認知障害（MCI、認知症の前段階）と診断された患者さん。<br><br>②さらに経過観察することで認知症（AD あるいは LBD）に移行したすべての患者さん。<br><br>①と②の両方を満たす患者さんを対象とします。 |

| | |
|---|---|
| | ■利用情報の内容<br>電子カルテ等に書かれている診療の記録<br>認知症を調べるために撮影された MRI 検査、脳血流検査等の頭部画像と心理検査<br><br>■利用情報の該当期間<br>2017 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日 |
| 利用情報の他機関への提供の有無<br>(有の場合はその名称) | 無 |
| 個人情報の取り扱い | 氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除いたします。<br>学会や論文にデータ公表する場合にも患者様を特定できる個人情報は利用いたしません。 |
| 企業等からの資金提供の有無<br>(有の場合はその名称) | 無 |
| お問い合わせ先 | 担当者名：仲田　崇（高齢者脳機能治療室）<br>電話番号：079－293－3131（代表） |
| 備考 | |